コロナ禍の今こそ

少人数学級に踏み出せ

小・中学校の35人以下学級　小西議員が提起

富山市で 教員100人増で実現

小西議員は9月10日の一般質問で、コロナ禍の今こそ、小・中学校の少人数学級に踏み出すべきと質問しました。

6月1日に学校が再開され、分散登校・時差登校が行われる中で、多くの子どもや教職員が実感したのが少人数学級の良さでした。

少人数学級での授業風景

「3密」防ぎ、ゆき届いた教育へ、今こそ実現を

子どもたちから「発言回数が増えた」「先生がよく見てくれた」「授業が分かるようになった」などの声。教職員からは「一人ひとりをよく見ることができた」「いつもこれくらいの人数だったら良い」などの意見が出ていることを紹介。

さらに、全国知事会、市長会などからも、現在の40人学級では感染防止のために3密を避けることは困難、子どもたちの学びの保障をするためにも少人数学級が必要であるとの提言が出されています。

そこで小西議員は、「市内すべての小・中学校の学級を35人以下にするには何人の教員が必要か」と質問。牧田教育委員会事務局長は「小学校で21学級、中学校で35学級の増となり、小学校で30人程度、中学校で70人程度の教員が必要」と答弁。

また、「少人数学級は教科や学習内容によっては特別な配慮が必要な子どもをはじめ、ひとり一人の児童生徒によりきめ細やかな指導を行うことができる」「先生と子どもたちのふれあいが増えるなどの効果」があるとの認識を示しました。

市教委として、「一定の学級・学年人数を確保しつつ、少人数による指導も含め様々な学習形態ができるよう、中核市教育委員会長会などを通じて国、県に強く働きかけていく」と答弁しました。

教職員の業務低減にスクールサポートスタッフすべての学校に配置!!

コロナ対策のために消毒作業や連絡などの業務が増え、教職員が今まで以上に過重勤務になるなかで「スクールサポートスタッフ」のすべての学校への配置、大規模校には複数配置が必要だと小西議員が質問しました。

牧田事務局長は「市内の小学校すべてに緊急スクールサポートスタッフを配置、未配置の中学校は10月より配置する」と答弁しました。

学校給食の無償化を

赤星議員が求める

コロナの影響で所得が減少している子育て世帯の負担軽減や不安を和らげるため、大阪市、大東市、石垣市、豊田市、平塚市、糸満市など、学校給食費無償化の実施が広がっています。

文科省が2017年度に行った無償化の全国の実施状況調査での報告では、児童生徒の「給食費の未納・滞納に対する心理的負担の解消」という効果も報告されています。

義務教育完全無償化を

義務教育は本来無償で、学校給食は教育の一環です。できる限り家庭に補充的出費を負わせるべきでなく、義務教育の無償を定めた憲法26条2項にのっとって本来国が自治体を支援して対応すべきと考えます。

高校まで無料の韓国

ちなみに韓国ではほとんどの小・中・高校での学校給食無償化が進み、有機食材＝オーガニックの無償給食です。

16億円あればできる

富山市の学校給食費は月額で小学校5300円、中学校6300円。無償化に必要な予算は年間で約16億円です。

赤星議員は、就学援助の制度もあるが、すべての児童生徒の給食費を半額や無料などに軽減するよう提案しました。

牧田教育委員会事務局長は、経済的な理由で給食費の支援が必要な世帯には生活保護や就学援助制度で給食費相当額を支給している、コロナの影響により家計が急変した世帯には就学援助制度の特例認定など、必要な世帯に必要な対応を行なっているので、すべての児童生徒の給食費軽減は考えていない、と答弁するにとどまりました。

富山市立小学校のある日の給食

「スーパーシティ」構想

「住民投票は大嫌い」応募を取りやめ ―森市長

5月に国会で数時間の審議で強行成立したスーパーシティ法（国家戦略特区法）について、森市長は9月1日の記者会見で「応募を検討していたが住民合意形成に時間がかかり、住民投票が必要で、『住民投票』（市の施策に市民が直接意思を表す）は大嫌いだから取りやめる」と述べました。

小西議員は一般質問で「スーパーシティはAI（人工知能）やビッグデータなど最先端技術を生かし、自動運転、遠隔診療、遠隔教育、全てキャシュレス、公共交通は顔パスなど便利で夢のような世界だ。最先端の技術を生かし、便利で快適な生活は市民が望むものだが、問題は住民サービスと個人情報が自治体と民間大手企業に集められ監視社会とプライバシー侵害が強化される危険性がある」と述べ、市長の見解を問いました。

市長は「応募の準備をしてきたが、応募の要件が変わり住民投票による住民合意が条件になった。合意を得られることに自信がない。認定を受けなくとも市の構想を一歩一歩進めていく」と答弁しました。

委員会のインターネット中継を　市民からの請願

日本共産党など10人が「採択」を求める－自民・公明などが不採択

★委員会中継のインターネット配信を求める請願

6月議会で「継続審査」とされたあと、閉会中にはなんの審査も調査もされないまま9月議会で再度、議題となりましたが、自民・公明が議会運営委員会で、費用がかかる、時期尚早などと不採択に。

本会議では今回も赤星議員が賛成討論を行い、共産・社民・政策フォーラム32など、6会派の10人が賛成しましたが、賛成少数で不採択とされました。

◎年金者組合からの請願

★加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度を

★命と暮らしを守る年金の改善を

◎農民組合からの請願

★コロナ禍の影響から米価下落阻止を

意見書提出を求める請願に賛成討論を小西議員が行いましたが、賛成少数で否決されました。